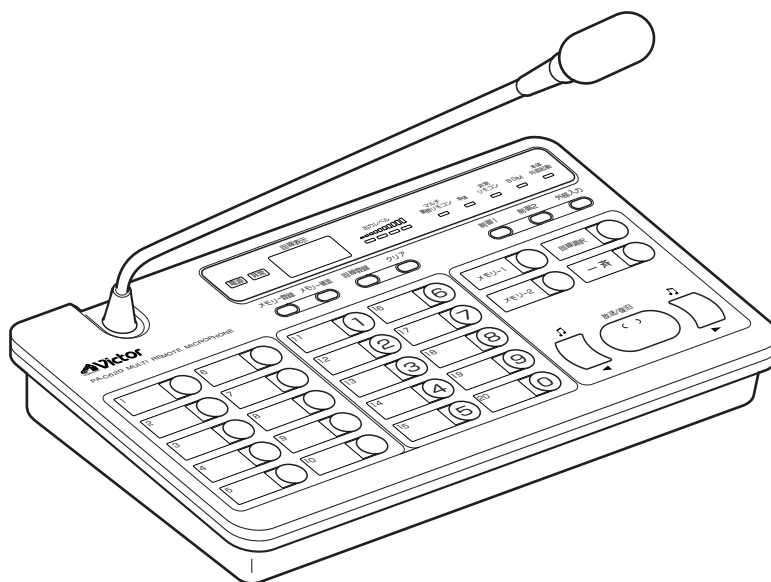


マルチリモートマイクロホン

型名 **PA-C620**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と添付の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の背面に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
再生紙(古紙100%)を使用しています。

このたびは

マルチリモートマイクロホン

PA-C620をお買い上げいただき

ありがとうございます。

特長

最大20ブロックの制御が可能

テンキー機能により個別回線も選択可能

メモリースイッチを2個装備

よく使用する放送先を登録しておけます。

放送の自動復旧機能内蔵

放送終了時に放送を切る操作を忘れても、自動的に放送を復旧します。

アップチャイム・ダウンチャイム内蔵

放送の開始と終了で、チャイムを使い分けることができます。

外部入力端子を装備

CDプレーヤーやカセットデッキからBGMやメッセージを放送できます。

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた



操作上の注意が書かれています。



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。



参考ページや参照項目を示しています。

■本書の記載内容について

- 本機の設置・接続方法については、EM-900シリーズ設置説明書（工事編）をご覧ください。
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

はじめに

もくじ

はじめに

特長	2
もくじ	3
正しくお使いいただくためのご注意	4

各部の名称とはたらき

操作パネル	5
背面パネル.....	7

準備

放送の自動復旧機能について.....	8
自動チャイム放送機能について.....	8
動作状態確認表示灯について.....	8

基本操作

回線を選んで放送する（ブロック放送）	9
登録回線すべてに放送する（一斉放送）	10
登録した回線に放送する（メモリー放送）	11
選んだ回線に放送する	12
外部機器の音を放送する	13

応用操作

回線を登録する（メモリー登録）	14
登録する／確認する	
外部機器を制御する.....	16
CDプレーヤーやカセットデッキなどの制御／チャイム機器などの制御	

その他

ディスプレイと表示灯による本機の動作状態について.....	17
保証とアフターサービスについて.....	18
仕様.....	19

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

- ◆ 次のような場所に置かない
誤動作や故障原因になります。
 - ・ 許容動作温度（0℃～40℃）範囲外の暑いところや寒いところ
 - ・ 許容動作湿度（30%～80%）範囲外の湿気の多いところ
 - ・ 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - ・ トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ・ ほこりや砂の多いところ
 - ・ 振動の激しいところ
 - ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - ・ 放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

- ◆ 機器を重ねて使用しない
お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したり、火災の原因となることがあります。
- ◆ 本機の上に物を置かない
テレビモニターのような重いものや、本機からはみ出るような大きなものを置くとバランスが崩れて倒れたり、落ちたりしてケガの原因になることがあります。
- ◆ 本機の上に乗らない、ぶら下がらない
倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。
- ◆ 本機の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- ◆ 内部に物を入れない
通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れると火災や感電の原因となります。

お手入れについて

- ◆ 本機はやわらかい布でふいてください。
シンナーやベンジンでふくと表面が溶けたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

点検・調整について

- ◆ セットの内部にさわらない
セットの内部に触れることは、故障や感電の原因となります。点検や調整は設置業者にお任せください。

モード設定スイッチについて

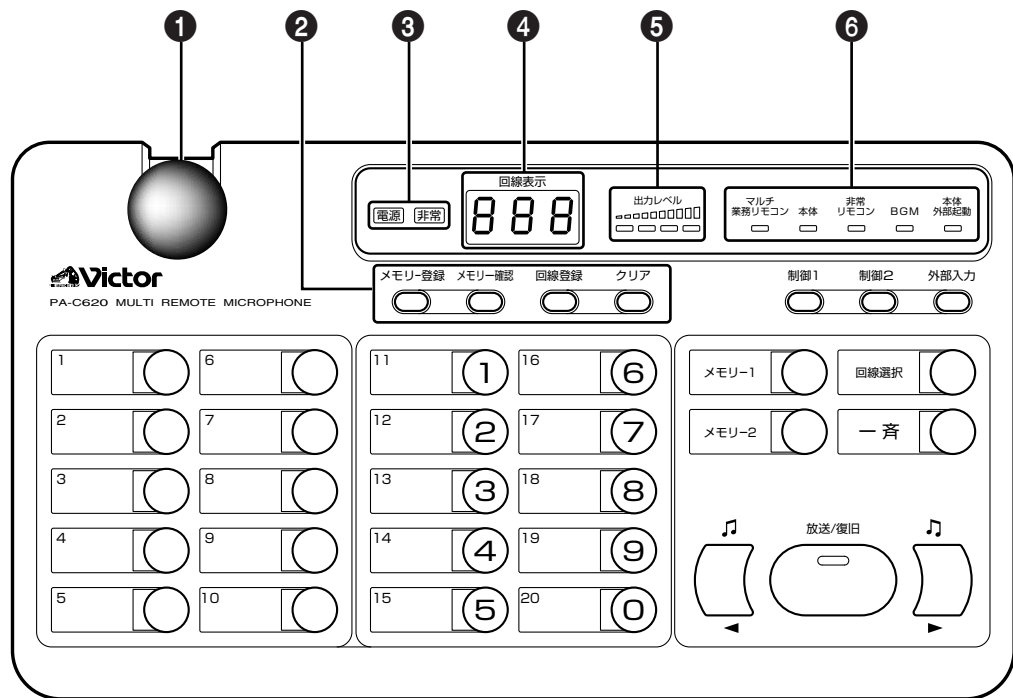
- ◆ 背面パネルのモード設定スイッチは本機の動作を決定するものです。
動作不良の原因になりますので、触らないようにしてください。

放送中は

- ◆ 本機を指先やものでたたかないでください。本機の振動音が放送に混入することがあります。

各部の名称とはたらき

操作パネル



1 フレキシブルマイク

マイク放送をするとき、ここへ向かって話します。

2 メモリー登録／メモリー確認／回線登録／クリアスイッチ

放送するスピーカー回線を登録するときや、メモリースイッチに回線を登録するときに使います。また、登録した回線を確認するときにも使います。

3 [電源] / [非常] 表示灯

[電源] 表示灯

：本機に電源が供給されているときに点灯します。

[非常] 表示灯

：非常放送中に点滅します。非常業務用放送設備EM-900シリーズと接続している場合は、非常操作練習モードのときにも点滅します。点滅中は本機を操作できません。

4 [回線表示] ディスプレイ

放送先の回線番号が表示されます。

5 [出力レベル] メーター

放送される音のレベルを表示します。放送される音量は、背面パネルの 13 チェイム音量ボリューム、14 外部入力音量ボリューム 15 マイク音量ボリュームで調節します。

6 動作状態確認表示灯

[マルチ業務リモコン] 表示灯

：他のマルチリモートマイクロホンで放送しているときに点灯します。また、本機で放送しているときにも点灯します。

[本体] 表示灯

：本体放送設備からの放送中に点灯します。

[非常リモコン] 表示灯

：非常リモコンからの放送中に点灯します。

[BGM] 表示灯

：BGM放送中に点灯します。

[本体外部起動] 表示灯

：業務リモコン、電話ページング、報時チャイム、アナウンスユニット、音声ファイル、PC (パソコン) の放送中に点灯します。

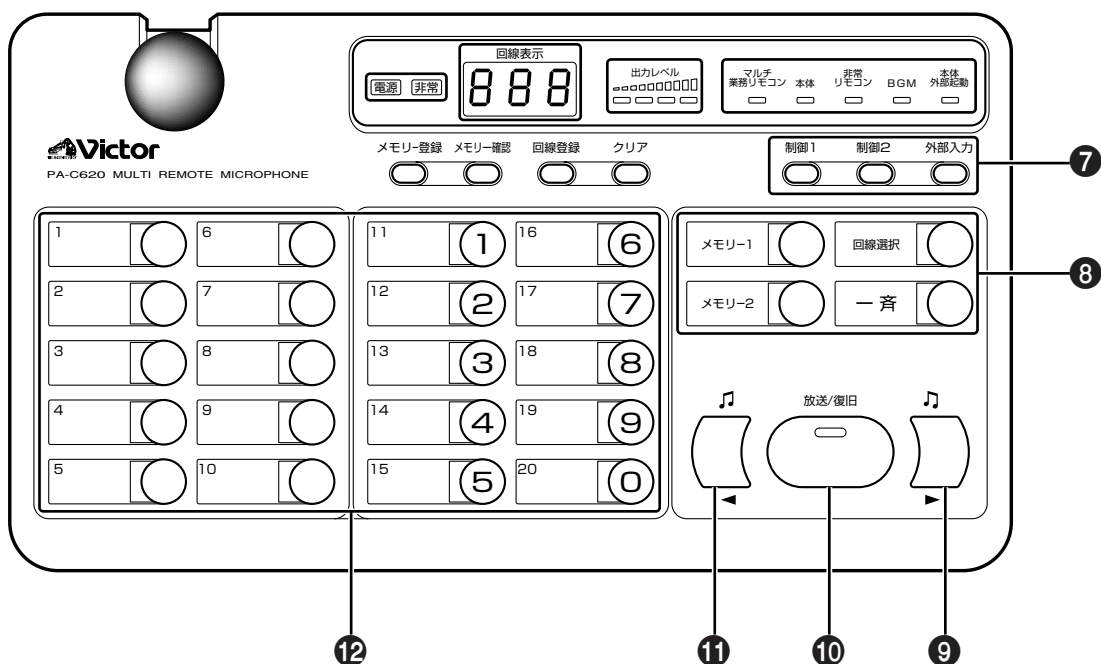


放送を始める前に、動作状態表示灯を確認してください。点灯しているときはその機器が放送をしています。

消灯するまで放送を控えるか、放送内容を考慮のうえ放送をしてください。

※放送しようとしても、放送設備の設定により放送できない場合があります。

操作パネル (つづき)



7 外部機器制御スイッチ

【制御1】スイッチ

：このスイッチを押すと、本機の制御出力または、本体放送設備の制御出力が動作し、接続されている外部機器が動作します。

【制御2】スイッチ

：このスイッチを押すと、本機の制御出力または、本体放送設備の制御出力が動作し、接続されている外部機器が動作します。

【外部入力】スイッチ

：本機につないだ外部機器の音声を放送するとき、このスイッチを押します。

8 放送先選択スイッチ

【メモリー(1,2)] スイッチ

：このスイッチには、次のはたらきがあります。

- あらかじめ、本機に登録した回線に放送するとき、このスイッチを押します。
- 本機に回線を登録するとき、このスイッチを押します。
- 本機に登録した回線を確認するとき、このスイッチを押します。

【回線選択] スイッチ

：放送する回線を選ぶときにこのスイッチを押します。回線番号を選ぶときは、12 ブロック選択スイッチの数字が書いてあるスイッチで行ないます。

【一斉] スイッチ

：本機に登録してあるすべての回線に放送をするとき、このスイッチを押します。

9 ダウンチャイムスイッチ

このスイッチを押すと、ド→ソ→ミ→ドと音階が下がっていくチャイムが放送されます。放送を終えるときなどに利用します。また、放送回線番号を確認するときにもこのスイッチを押します。



チャイムの鳴動速度は、設定により遅くすることができます。設置業者にご相談ください。

10 [放送/復旧] スイッチ・表示灯

放送を始めるときに、このスイッチを押します。また、放送が可能な状態になると、表示灯が点灯します。放送を終えるときには、スイッチをもう一度押します。

11 アップチャイムスイッチ

このスイッチを押すと、ド→ミ→ソ→ドと音階が上がっていくチャイムが放送されます。放送を始めるときなどに利用します。また、放送回線番号を確認するときにもこのスイッチを押します。

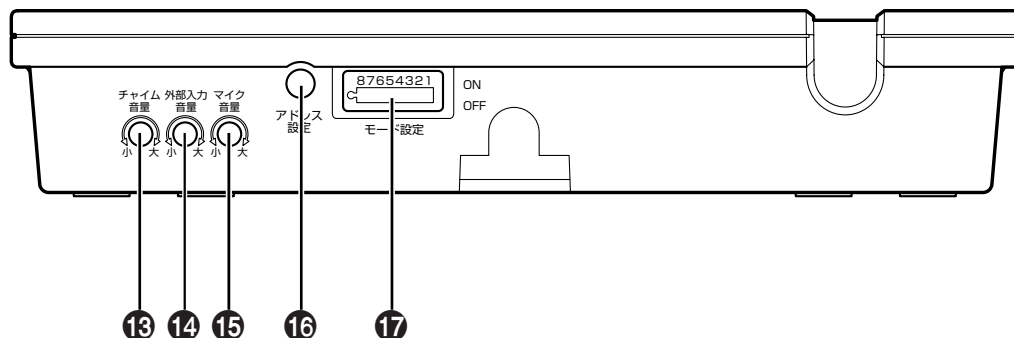


チャイムの鳴動速度は、設定により遅くすることができます。設置業者にご相談ください。

12 ブロック選択スイッチ

このスイッチを押して放送先を選びます。数字の書かれたスイッチは個別放送回線番号を選ぶときに回線番号スイッチとして使用します。

背面パネル



- 13** [チャイム音量] ボリューム
放送されるチャイムの音量を調節します。



チャイムの鳴動速度は、設定により遅くすることができます。設置業者にご相談ください。

- 14** [外部入力音量] ボリューム
本機につないだ外部機器（CDプレーヤーやカセットデッキなど）の放送される音量を調節します。

- 15** [マイク音量] ボリューム
本機の **1** フレキシブルマイクを使ったときの放送される音量を調節します。

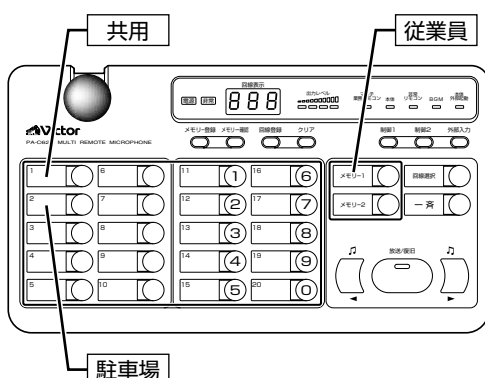
- 16** [アドレス設定] スイッチ
本機のアドレス番号を設定するときに使います。設置時に設定されていますので、通常は操作しません。

- 17** [モード設定] スイッチ
本機の動作を設定するスイッチです。設置時に設定されていますので、通常は操作しません。



背面パネルのモード設定スイッチは本機の動作を決定するものです。動作不良の原因になりますので、触らないようにしてください。

放送先名の記入のしかた



ブロック選択スイッチ、メモリー（1、2）スイッチ横のスペースは放送先名を記入したラベルを貼り付ける部分です。

市販のテプラライターなどで作成した放送先名ラベルを貼り付けます。ラベルの幅は12mm以下のものをご使用ください。

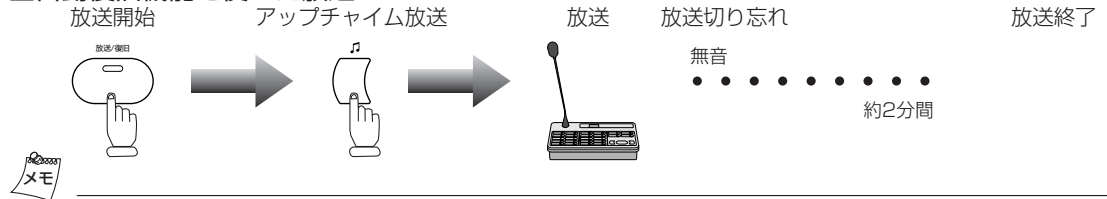
放送の自動復旧機能について

自動復旧機能は、放送終了後に放送を切る操作を忘れても、無音の放送が約2分間続くと自動的に放送を切る機能です。

■通常の放送



■自動復旧機能を使った放送



- ・自動復旧機能の”する／しない”の設定は、設置業者にご相談ください。
- ・設置状況により、常に音声が出力されてしまうような場合には、自動復旧機能は働きません。

自動チャイム放送機能について

自動チャイム放送機能は、放送を始めるときに「放送／復旧」スイッチを押すだけで、自動的にアップチャイムを放送する機能です。また放送を終えるときにも「放送／復旧」スイッチを押すだけで自動的にダウンチャイムを放送することができます。

■通常の放送



■自動チャイム放送機能を使った放送



- ・自動チャイム放送機能の”する／しない”の設定は、設置業者にご相談ください。
- ・動作状態表示灯が消灯し、すぐに放送を始めると、アップチャイムの始めの音が放送できない場合があります。

動作状態確認表示灯について



放送を始めの前には、動作状態表示灯を確認してください。点灯しているときはその機器が放送を行なっています。

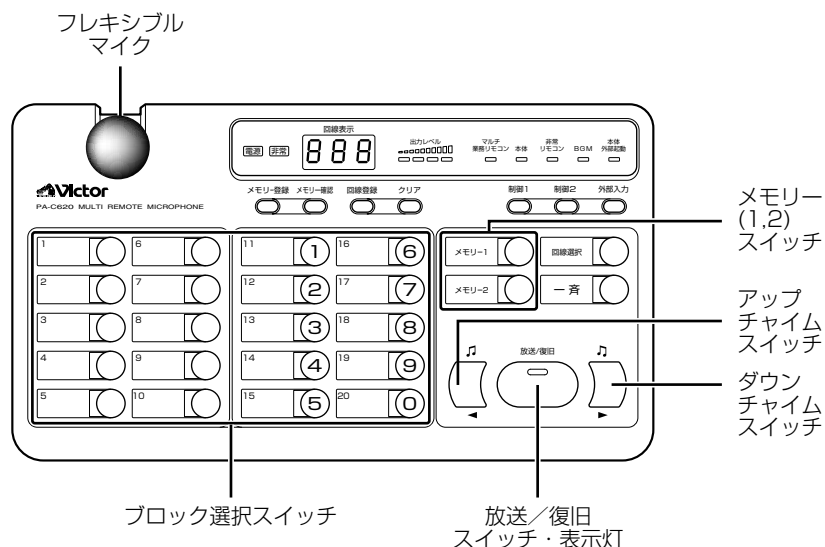
消灯するまで放送を控えるか、放送内容を考慮のうえ放送を行なってください。

※放送設備の設定によっては、放送できない場合があります。

基本操作

回線を選んで放送する（ブロック放送）

ブロック放送は、本体放送設備で、あらかじめ設定されている回線を選んで放送する方法です。



1 ブロック選択スイッチを押す

- 放送したい回線のブロック選択スイッチを選びます。
- ブロック選択スイッチは、複数個選ぶことができます。
- 選んだスイッチが点灯します。



・ 放送/復旧表示灯が点滅しているときは放送できません。

2 放送/復旧スイッチを押す

放送/復旧表示灯が点滅から点灯へと変わります。



- ・ ブロック選択スイッチ、メモリ(1,2)スイッチを押すと、放送中に放送先の回線を追加/削除できます。
- ・ ブロック選択スイッチを押して、放送先の回線すべてを削除すると放送/復旧表示灯が消灯し、放送を終了します。

3 フレキシブルマイクに向かって話す

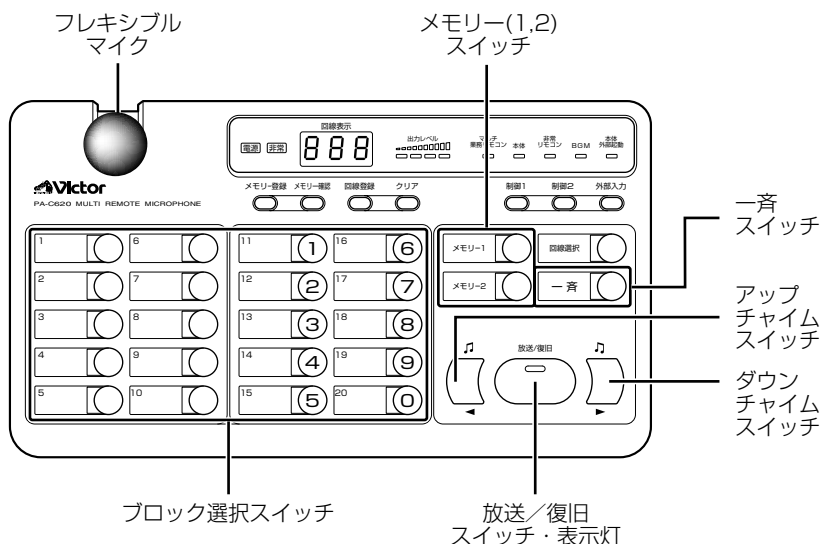
放送の前後にチャイムを鳴らすときは、アップチャイムスイッチ・ダウンチャイムスイッチを押します。

4 放送/復旧スイッチを押す

放送/復旧表示灯が消灯し、放送を終了します。

登録回線すべてに放送する（一斉放送）

一斉放送は、本体放送設備で、あらかじめ設定されている回線すべてに放送する方法です。



・一斉スイッチをもう一度押すと解除されます。

1 一斉スイッチを押す

- 一斉スイッチが点灯します。
- メモリー(1,2)スイッチが点灯します。
 - ・回線が登録されていないときは点灯しません。
- ブロック選択スイッチすべてが点灯します。
 - ・回線が設定されていないブロック選択スイッチは点灯しません。



・放送/復旧表示灯が点滅しているときは放送できません。

2 放送/復旧スイッチを押す

放送/復旧表示灯が点滅から点灯へと変わります。



・一斉放送中は、ブロック選択スイッチ、メモリー(1,2)スイッチ、一斉スイッチを押しても、放送先の回線を減らすことはできません。

3 フレキシブルマイクに向かって話す


放送の前後にチャイムを鳴らすときは、アップチャイムスイッチ・ダウンチャイムスイッチを押します。

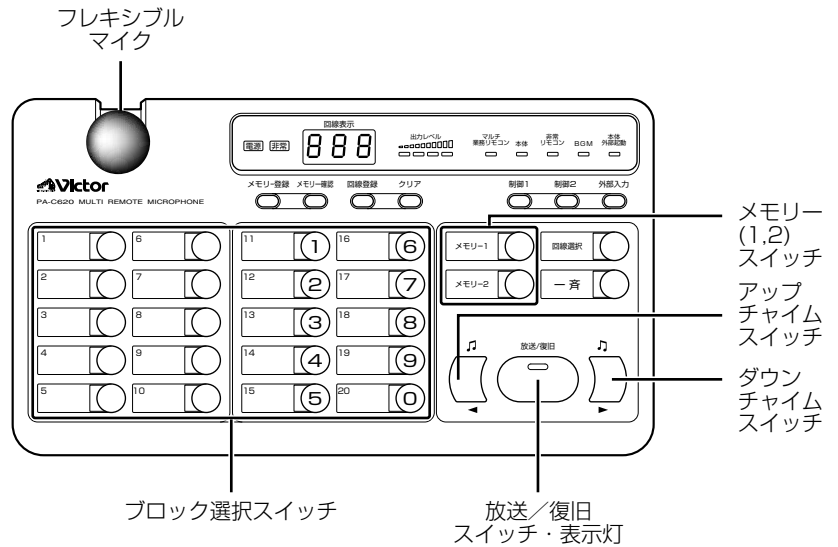
4 放送/復旧スイッチを押す

放送/復旧表示灯が消灯し、放送を終了します。

登録した回線に放送する（メモリー放送）

メモリー放送は、メモリースイッチひとつで放送したい回線を選べる放送方法です。メモリースイッチには、放送先の回線をあらかじめ登録しておく必要があります。

メモリースイッチへの回線登録方法：  14ページ



1 メモリー(1,2)スイッチを押す

- 放送したい回線を登録したメモリースイッチを選びます。
- メモリー1スイッチと、メモリー2スイッチは同時に選べます。



- ・ 放送/復旧表示灯が点滅しているときは放送できません。

2 放送/復旧スイッチを押す

放送/復旧表示灯が点滅から点灯へと変わります。



- ・ ブロック選択スイッチで、放送中に放送先の回線を追加/削除できません。

3 フレキシブルマイクに向かって話す

放送の前後にチャイムを鳴らすときは、アップチャイムスイッチ・ダウンチャイムスイッチを押します。

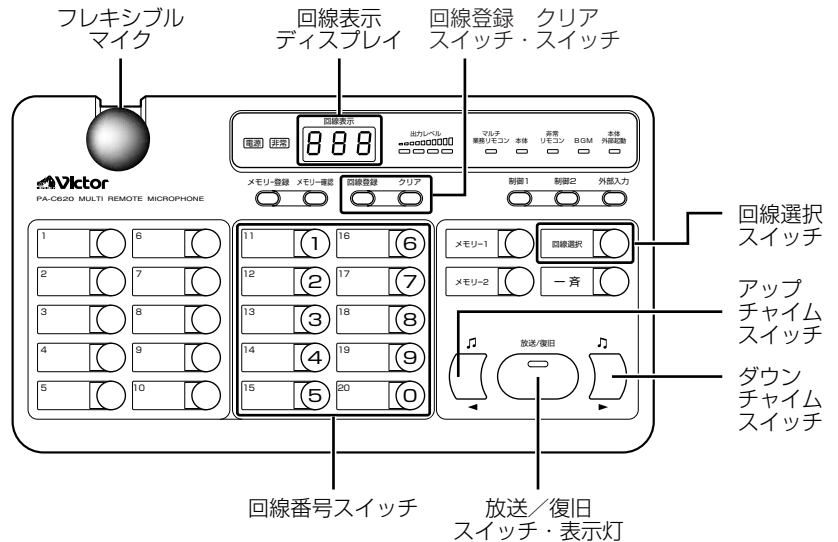
4 放送/復旧スイッチを押す

放送/復旧表示灯が消灯し、放送を終了します。

選んだ回線に放送する

回線選択スイッチを使うと、放送したい回線だけを選んで放送することができます。

<設定例>
回線番号“23”と
“108”に放送する。



・回線番号のスイッチを押し間違えたときは、“0” → “2” → “3”の手順で回線番号スイッチを押すと訂正できます。



・回線番号を変更するときは、クリアスイッチを押します。



・放送中は、メモリー(1,2)スイッチ、一斉スイッチ、ブロック選択スイッチを押しても放送先の回線を追加することはできません。

1 回線選択スイッチを押す

- 回線選択スイッチが点灯します。
- 回線登録スイッチと回線番号スイッチがうす暗く点灯します。
- 回線表示ディスプレイには“---”が点滅表示されます。

2 回線番号23を設定する

- 回線番号スイッチの数字キー“2”を押します。
- 回線番号スイッチの数字キー“3”を押します。
- 回線表示ディスプレイには“-23”が点滅表示されます。

3 回線登録スイッチを押す

回線表示ディスプレイの“-23”点滅表示が“023”の点灯へと変わります。

4 回線番号108を設定する

- 手順2と手順3を繰り返します。
- 登録されていない回線を選ぶと、「ピピピ」とアラーム音が鳴ります。

5 放送/復旧スイッチを押す

- 放送/復旧表示灯が点滅から点灯へと変わります。
- 回線表示ディスプレイには“023” → “108” → “→” End “→…”と放送している回線番号が表示されます。

6 フレキシブルマイクに向かって話す

放送の前後にチャイムを鳴らすときは、アップチャイムスイッチ・ダウンチャイムスイッチを押します。

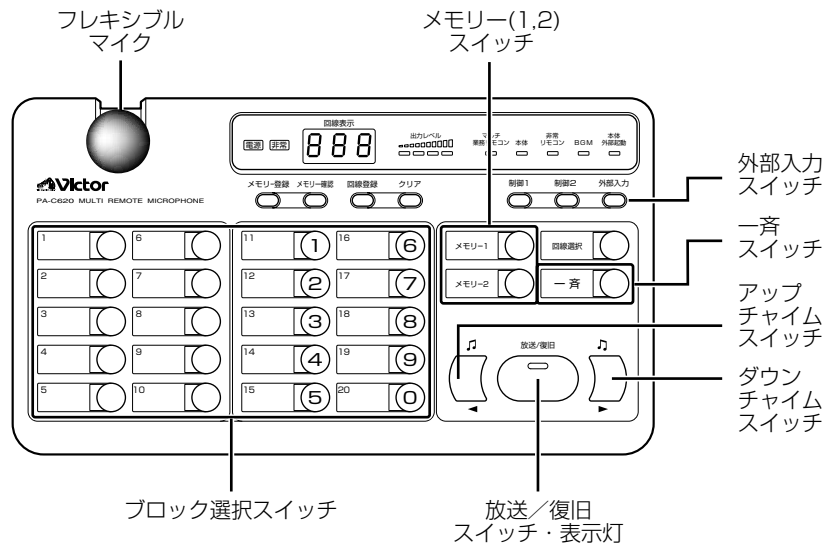
7 放送/復旧スイッチを押す

放送/復旧表示灯が消灯し、放送を終了します。

外部機器の音を放送する

本機につながっている外部機器の音声を放送することができます。また、外部機器の音声と一緒に、マイクの音声を放送（ミックス放送）することもできます。

※外部機器の接続やミックス放送“する／しない”の設定は、設置業者にご相談ください。



1 外部入力スイッチを押す

外部入力スイッチが点灯します。

2 放送先を選ぶ

ブロック選択スイッチや一斉スイッチ、メモリー(1,2)スイッチで放送先を選びます。

3 放送/復旧スイッチを押す

放送/復旧表示灯が点滅から点灯へと変わります。



・外部機器の音声を放送中は、マイク音声を放送しない設定ができます。

4 放送する機器を操作する

放送の前後にチャイムを鳴らすときは、アップチャイムスイッチ・ダウンチャイムスイッチを押します。

5 放送/復旧ボタンを押す

放送/復旧表示灯が消灯し、放送を終了します。

6 外部入力スイッチを押す

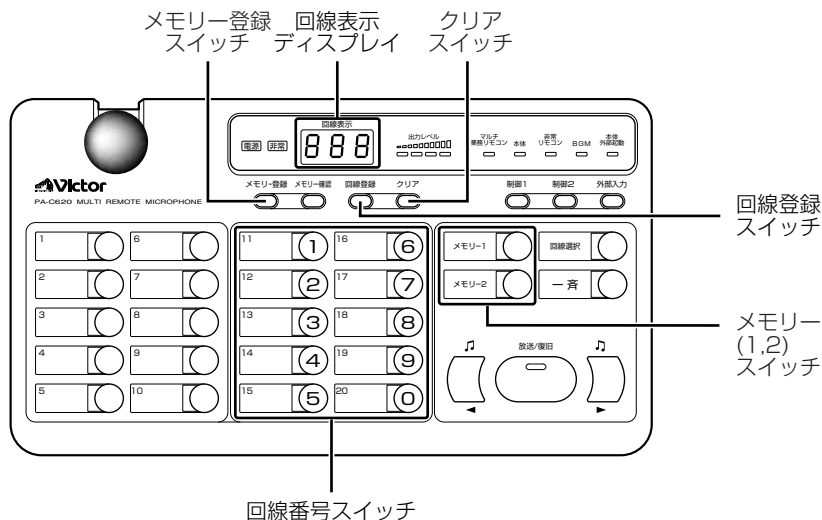
外部入力スイッチが消灯します。

回線を登録する（メモリー登録）

メモリー(1,2)スイッチに放送したい回線を登録できます。メモリースイッチへの回線登録は、施設管理者にお任せください。

登録する

<設定例>
メモリー1スイッチに回線番号“23”と
“108”を登録する。



1 メモリー登録スイッチを押す

- メモリー登録スイッチが点灯します。
- 回線表示ディスプレイには“---”が点滅表示されます。
- 回線登録スイッチと、回線番号スイッチがうす暗く点灯します。



- ・回線番号のスイッチを押し間違えたときは、“0”→“2”→“3”の手順で回線番号スイッチを押すと訂正できます。
- ・回線番号を変更するときは、クリアスイッチを押します。

2 登録する回線番号スイッチを押す

- 回線番号スイッチの数字キー“2”を押します。
- 回線番号スイッチの数字キー“3”を押します。
- 回線表示ディスプレイには“-23”が点滅表示されます。

3 回線登録スイッチを押す

回線表示ディスプレイの“-23”点滅表示が“023”の点灯へと変わります。

4 手順2と手順3を繰り返す

回線番号“108”を設定します。

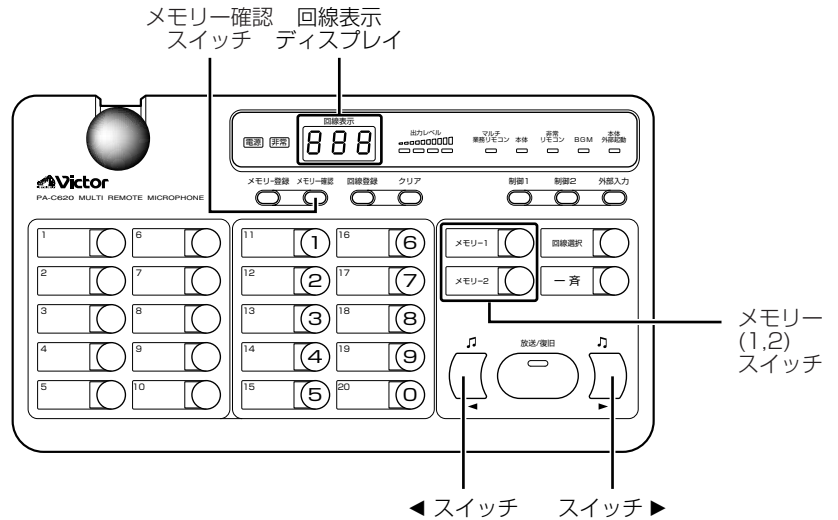
5 メモリー1スイッチ（登録させたいスイッチ）を1秒以上押し続ける

- “ピー”音が鳴り、登録が完了します。
- すべてのスイッチの表示灯が消灯します。

メモリー確認スイッチを使うと、メモリー(1,2)スイッチに登録してある回線が確認できます。

確認する

<確認例>
メモリー1スイッチに回線番号“23”と“108”が登録されていることを確認する。



1 メモリー確認スイッチを押す

- メモリー確認スイッチが点灯します。
- メモリー(1,2)スイッチがうす暗く点灯します。

2 メモリー1スイッチを押す

- メモリー1スイッチが点灯します。
- 回線表示ディスプレイには登録番号が表示されます。



- ・◀/▶スイッチを押し続けると、表示速度が早くなります。
- ・◀スイッチを押すと、逆の順序で登録回線が確認できます。

3 ▶スイッチを押す

回線表示ディスプレイに登録した回線番号が表示されます。
“023” → “108” → “End” → “023” → “108” → “End” …

4 メモリー確認スイッチを押す

回線表示ディスプレイが消え、確認を終了します。

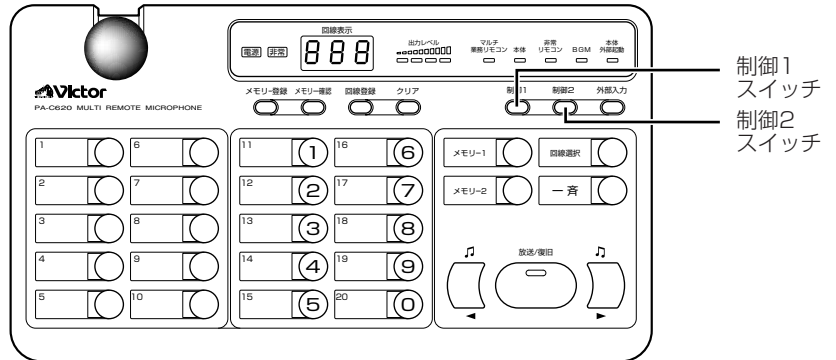


- ・メモリースイッチに登録してある回線の確認中に、回線番号を削除することはできません。14ページのメモリー登録手順でもう一度登録をしてください。

外部機器を制御する

本機につながれている機器や、本体放送設備につながれている機器を、制御(1,2)スイッチで操作することができます。

※外部機器の接続や、背面パネルの設定スイッチの設定は、設置業者にご相談ください。



CDプレーヤーやカセットデッキなどの制御

<設置状態>
背面パネルのモード設定スイッチで、制御1スイッチをBGM機器制御に設定してあるとき。

- 1** 制御1スイッチを押す
 - 制御1スイッチが点灯します。
 - つながれている外部機器が演奏を始めます。
- 2** 制御1スイッチを押す
 - 制御1スイッチが消灯します。
 - つながれている外部機器の演奏が止ります。

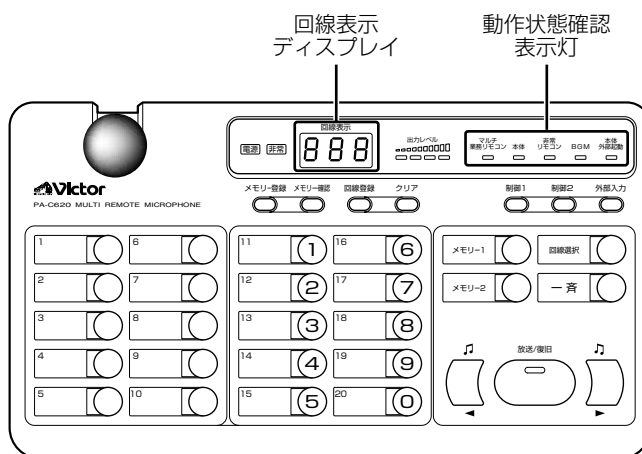
チャイム機器などの制御

<設置状態>
背面パネルのモード設定スイッチで、制御2スイッチをチャイム機器制御に設定してあるとき。

- 1** 制御2スイッチを押す
 - 制御2スイッチが3秒間点灯します。
 - つながれている外部機器が作動します。

ディスプレイと表示灯による本機の動作状態について

回線表示ディスプレイと動作状態確認表示灯で本機の動作状態を知ることができます。



回線表示ディスプレイ

ディスプレイ表示

本機、または本体放送設備の動作状態

操作制限と対応

“E r l”
が点滅

本機と本体放送設備との通信エラー

◆本機のスイッチ操作が無効になります。
◆マイク放送中や、外部接続機器の放送中は、放送が中断されます。

施設管理者か設置業者へ
ご相談ください。

動作状態確認表示灯

表示灯の状態

本機、または本体放送設備の動作状態

操作制限と対応

次の表示灯がすべて点滅
[マルチ業務リモコン]
[本体]
[非常リモコン]
[BGM]
[本体外部起動]

次の状態が予想されます。
◆EM-E96のシステム点検中
◆EM-E96のシステム設定中
◆本体放送設備の初期化中

◆本機のスイッチ操作が無効になります。
◆マイク放送中や、外部接続機器の放送中は、放送が中断されます。

消灯するまで放送を控えてください。点滅の状態が長く続く場合は、施設管理者か設置業者にご相談ください。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容と保管について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについて

◆お問合せ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。最寄のサービス窓口にご相談ください。

◆修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

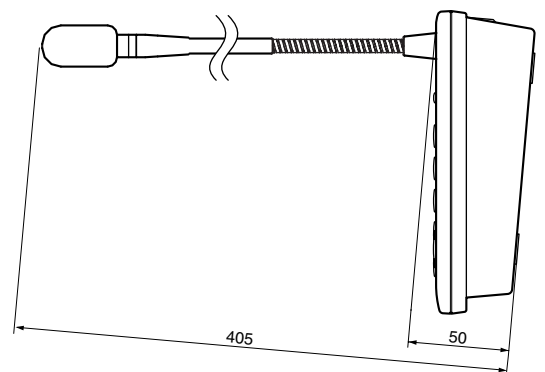
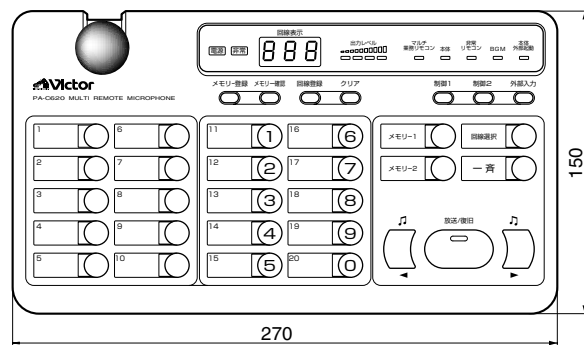
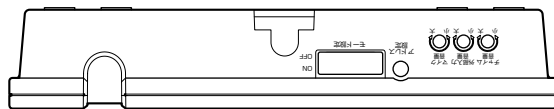
- マルチリモートマイクロホン
PA-C620
- お名前とおところ
- 電話番号
- 故障症状（詳しく）

廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

◆フレキシブル マイク	コンデンサマイクロホン (エレクトレット型)	◆放送の自動復旧機能	付き (音声の入力がなくなっ てから2分後に自動的に復旧)
◆マイク入力	-45 dBs 2 kΩ 不平衡 AGC付き 半固定VR付き (フレキシブルマイク用)	◆出力レベル メーター	4点LED
◆外部入力	-20 dBs 5 kΩ 電子平衡 ワンタッチ端子台	◆質量	1 kg
◆音声出力	+6 dBs、 150 Ω 平衡 ワンタッチ端子台	◆電源	DC 24 V 220 mA (本体放送設備から供給)
◆内蔵チャイム	4音チャイム (アップ・ダウン) 鳴動速度切り換え付き	◆許容動作温度範囲	0 °C ~ 40 °C
◆制御出力	2出力 (入出力拡張EM-L92 よりメーク接点出力、お よびPA-C620よりオー プンコレクタ出力) パルス出力 (3秒 ON)、 またはスイッチON中メーク	◆許容動作湿度範囲	30 % ~ 80 %
◆放送中表示	マルチ業務リモコン/本体 /非常リモコン/BGM/ 本体外部起動/非常	◆許容保存温度範囲	-10 °C ~ 55 °C
◆システム拡張用端子	端子台5ピン (RS-232C)	◆回線選択	20ブロック テンキーによる個別回線一斉
◆外観寸法	270 mm (幅) × 50 mm (高さ) × 150 mm (奥行)	◆回線登録	2メモリー メモリー1/2スイッチ付き
		◆周波数特性 (1 kHz基準) ※アナウンスマイク	50 Hz ~ 15 kHz ± 2 dB (アナウンスマイク除く) 150 Hz -3 dB ± 2 dB 5 kHz 0 dB ± 2 dB
		◆歪率	1 %以下
		◆S/N	65 dB (アナウンスマイク以外) 60 dB (アナウンスマイク)



※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談センター



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(03)5684-9311** [代表]

FAX **(03)5684-9317**

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

日本ビクター株式会社

プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話 (0426) 60-7203